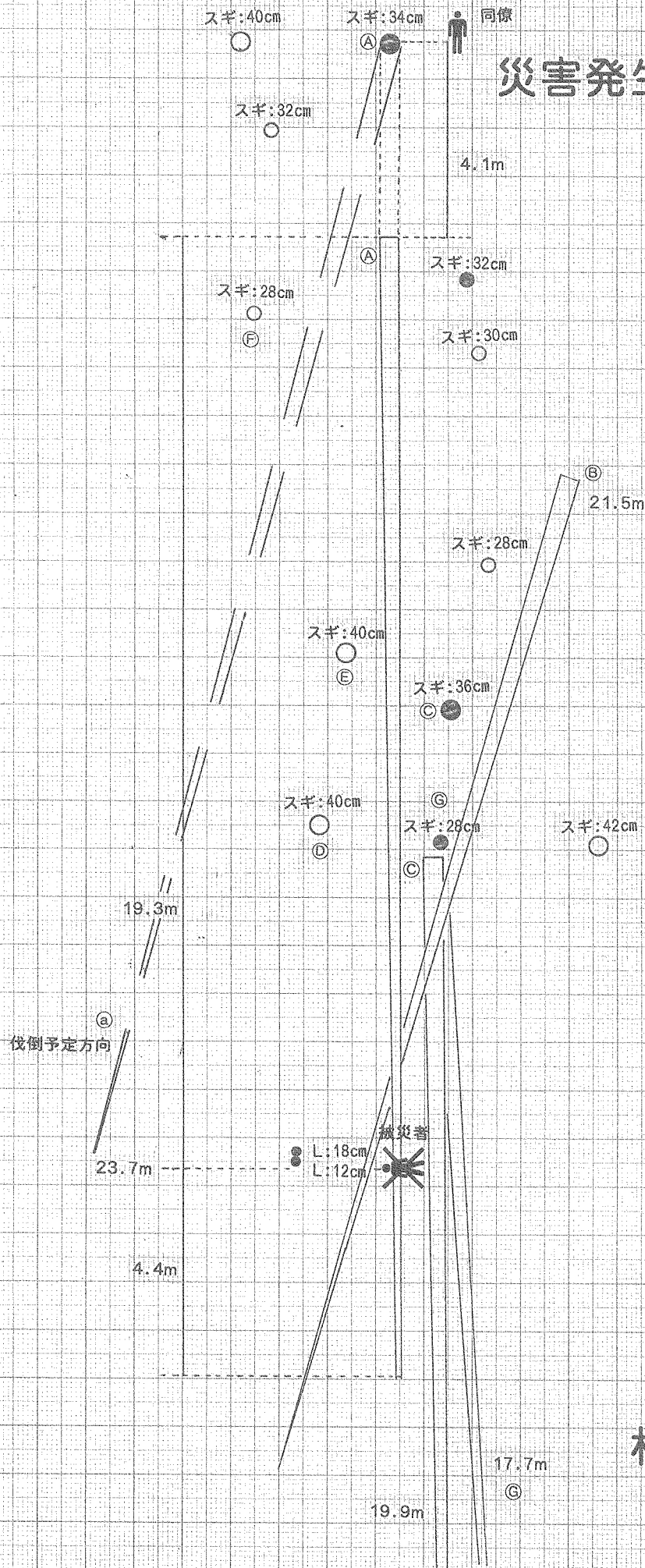


請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

25-1

1 署 等 名	岐阜森林管理署
2 事 業 の 種 類	請負事業(造林事業)
3 災 害 発 生 日 時 等	平成25年6月17日(月) 10時00分頃 怪我の程度: 全身打撲、腰椎椎間板症 休業見込み: 7日程度
4 災 害 発 生 場 所	岐阜県下呂市小坂町 落合国有林 134は林小班
5 契 約 相 手 方	小坂町森林組合
6 事 業 実 行 事 業 体	同 上
7 被 災 者 年 齢 等	年齢: 53歳 性別: 男 (経験年数19年) 雇用区分: 社員 社会保険等加入状況: 労災、雇用、健康、厚生、中退
8 従 事 作 業	森林環境保全整備事業(保育間伐活用型)の枝払作業
9 災 害 概 況	<p>当日、被災者は同僚5名と伐倒、集造材作業に従事していた。(伐倒1名、集材3名、造材1名) 10時00分頃、被災者は伐倒・枝払に従事していた同僚にスギA(胸高直径30cm、樹高23.7m)を伐倒するよう指示した後、スギAの斜面下方23.4m地点にある伐倒済のスギB(胸高直径28cm、樹高21.5m)の枝払い作業に従事していた。</p> <p>同僚はスギAをスギEとスギFの間に向けて伐倒しようとしたが、伐倒方向が狂い被災者の方向へ倒れた。被災者はスギAが自分の方向へ倒れて来るのに気づき、その場(窪地)に体を沈めて避けた際に腰等を打ち受災した。</p> <p>同僚は被災者の声に気づき近づいてみると、既に伐倒済のスギBと重なっている付近(スギAの梢端部から約5m、直径約16cm)で地面との隙間(窪地)に仰向けで倒れている被災者を発見した。</p> <p>同僚は直ちに他の同僚4名に災害の発生を伝えた後、同僚3名と共に被災者の救出に向かい担架で林道に駐車してあった車両まで搬送し、その車両で救急車との待ち合わせ場所に向かった。(他の同僚1名は無線で森林組合へ災害の発生を伝えると共に救急車の要請を行った) 11時01分頃、待ち合わせ場所で救急車へ被災者を引き渡した。 11時50分頃、被災者を乗せた救急車は高山赤十字病院に到着した。</p>
10 その他特記すべき事項	<p>同僚は呼子による伐倒合図を行ったが、笹生い地で被災者の姿は確認できなかった。また、伐倒の際にクサビは使用しなかった。</p> <p>同僚の経験年数は18年であるが、伐倒、集造材作業の従事は1年目であった。(以前は造林事業に従事) 同僚の安衛則第36条第8号の特別教育は、平成8年6月5日に修了</p>

災害発生現場見取り図



林地傾斜: 26° ↓

- 伐倒木
- 立木

災害発生概況写真

スギAの伐倒状況



被災者発見時の状態

